

外科・移植外科に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在外科・移植外科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

肝臓移植後肝臓再発高危険群の全国実態調査

●研究の目的

肝細胞癌合併生体肝移植後の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより、肝細胞癌に対する肝移植治療の効果および安全性を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています。

●対象となる患者さん

2010年1月1日から2018年12月31日の間、当科を受診され、肝細胞癌のある状態で生体肝移植を受けられた患者さん。

●研究期間：2022年3月16日から2023年3月31日

●使用させていただく診療データ

- ・術前情報：年齢、性別、血液検査、既往症、血液型適合性、ドナー特異抗体有無など
- ・ドナー情報：年齢、性別など
- ・手術情報：グラフト種類、出血量、輸血量、手術時間、グラフト重量体重比など
- ・術前肝細胞癌所見：画像所見、腫瘍マーカーなど
- ・病理所見、術後生存情報、術後肝細胞癌再発情報、免疫抑制剤使用情報など

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データは、電子メールやインターネットを通じて、又は郵送やFAX等により共同で研究を実施している他の施設へ提供することもあります。患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、広島大学疫学研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、当院の病院長の許可のもと実施しています。

●研究代表機関（情報管理責任者）

広島大学病院 消化器・移植外科

代表者名 大段 秀樹

住所：〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

電話：082-257-5222

●研究事務局（本研究全般の窓口）

広島大学病院 消化器・移植外科

代表者名 大段 秀樹

担当者名 大平 真裕

住所：〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

電話：082-257-5222

●共同研究機関

旭川医科大学（横尾英樹）、岩手医科大学（新田浩幸）、愛媛大学（高田泰次）、大阪大学（江口英利）、岡山大学（八木孝仁）、金沢大学（八木真太郎）、京都大学（波多野悦朗）、京都府立医科大学（牛込秀隆）、九州大学（吉住朋晴）、熊本大学（日比泰造）、慶應義塾大学（長谷川 康）、神戸市立医療センター中央市民病院（貝原 聡）、神戸大学（福本巧）、国立成育医療研究センター（笠原群生）、埼玉医科大学総合医療センター（別宮好文）、自治医科大学（佐久間康成）、順天堂大学（齋裏明夫）、信州大学（副島雄二）、千葉大学（大塚将之）、東京医科大学八王子医療センター（河地茂行）、東京慈恵会医科大学（春木孝一郎）、東京女子医科大学（江川裕人）、東京大学（長谷川潔）、東北大学（宮城重人）、獨協医科大学（青木 琢）、長崎大学（江口晋）、名古屋大学（小倉靖弘）、新潟大学（若井俊文）、日本赤十字社医療センター（橋本拓哉）、広島大学（大段秀樹）、福島県立医科大学（丸橋繁）、藤田医科大学（高原武志）、北海道大学（渡辺正明）、三重大学（水野修吾）、横浜市立大学（澤田 雄）

広島大学に情報を集め広島大学（研究責任者 大段 秀樹）が解析します。

●問い合わせ先（当院の連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 外科・移植外科

研究責任者 貝原 聡

研究担当者 瓜生原 健嗣

住所：神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

電話：078-302-4321

2022 年 3 月 1 日作成 第 1.0 版